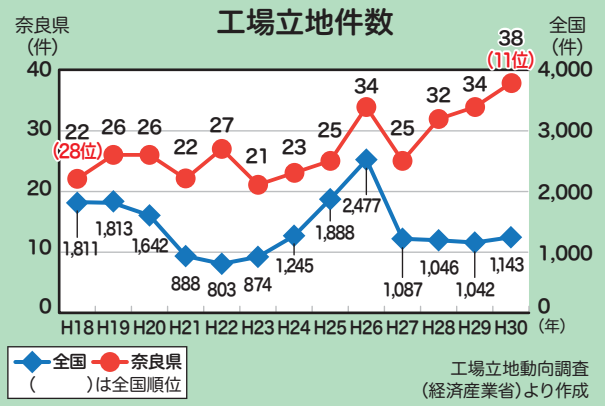
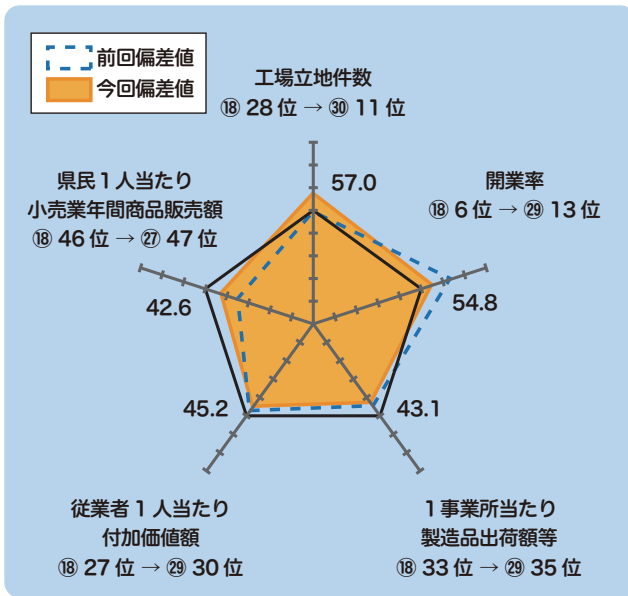


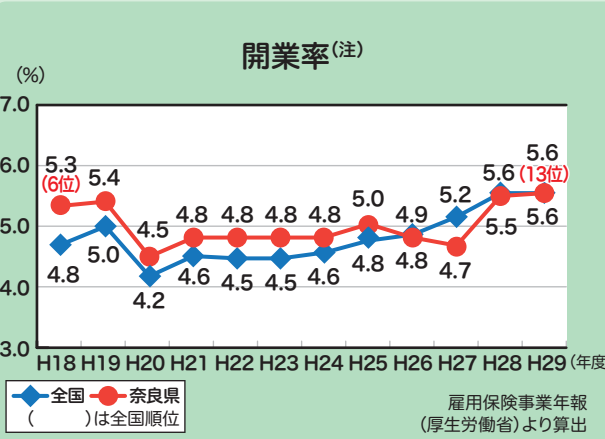
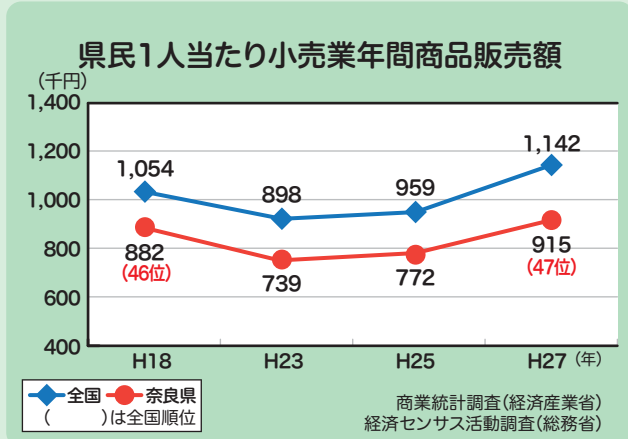


1. 地域経済活性化

I

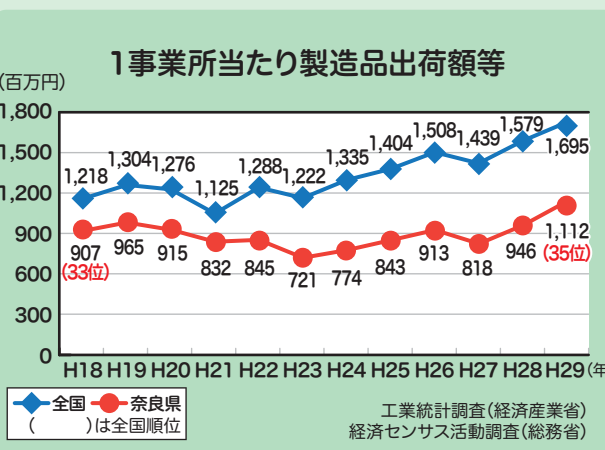
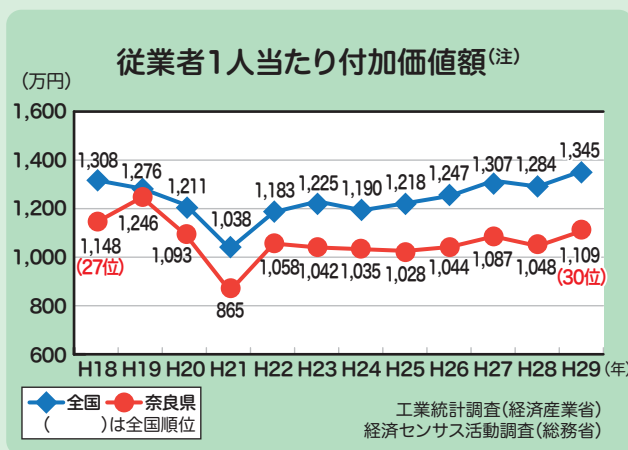


企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組により、平成30年の工場立地件数は全国11位となりました。



平成27年の県民1人当たり小売業年間商品販売額は、平成25年と比べて約14万円増加しましたが、全国平均よりも低くなっています。

平成29年度の開業率は、平成18年度以降最も高い5.6%と、全国平均と同じとなりました。



従業員1人当たり付加価値額は、平成21年に減少した後、増加したものの、全国水準まで回復していない状況です。

1事業所当たり製造品出荷額等は、平成24年以降増加傾向にあるものの、全国平均よりも低くなっています。



(1) 工場誘致 (2) 工業ゾーンの創出

これまでは

- 工場立地に勢いが出てきています。
- 過去12年の工場立地件数3333件 (H30年 全国11位 近畿2位)
- 工場進出の勢いが未だ続いている一方、県内の工場用地が不足してきています。
- 工業ゾーン創出には、「まとまった用地の確保」が必要です。

平成30年の近畿の立地件数

兵庫県	: 57件
奈良県	: 38件
京都府	: 27件
大阪府	: 23件
滋賀県	: 15件
和歌山県	: 13件



テクノパーク・なら工業団地

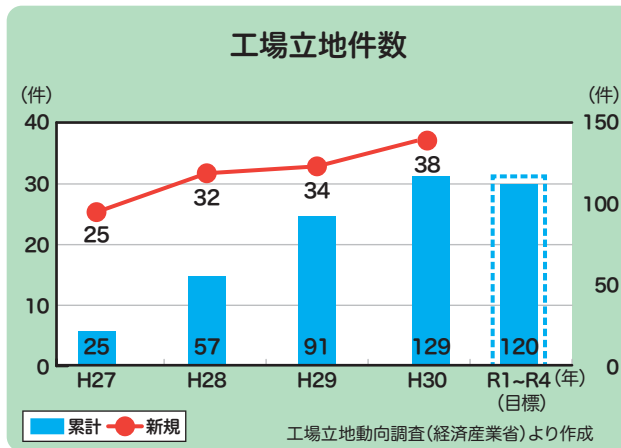
もっと良くするために

- この勢いを止めないで誘致の努力を続けます。
- 市町村と共同で工業ゾーン創出プロジェクトに取り組むとともに、新たな産業用地の創出に努めていきます。
- 京奈和自動車道や西名阪自動車道の周辺等、企業立地の潜在力が高い候補地の産業用地創出の実現可能性を調査します。

目指す姿

令和元年から令和4年の4年間で120件の工場を新たに誘致します。

奈良県の工場立地件数は、最近どんどん勢いを増して、全国や近畿内でも上位となっているんだね!



そのとおり! トップセミナー等積極的な誘致活動を行い、この勢いを止めないように努力していきます。また、市町村と連携して工業ゾーンを創出します。



主な取組

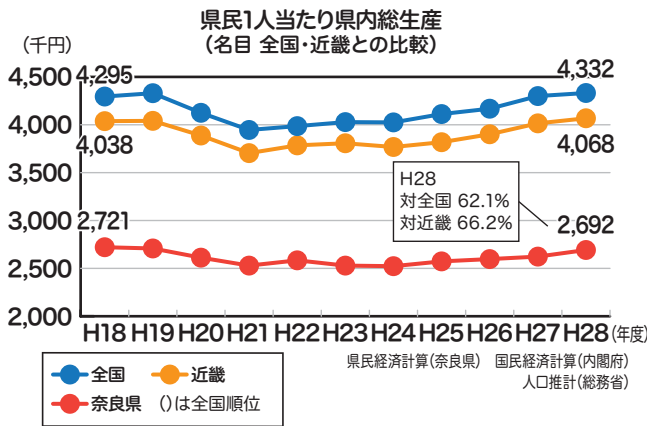
取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進	京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺における産業集積地の創出		
成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の推進	トップセミナーの実施・展示会・企業訪問等によるPR、積極的な海外企業誘致活動の推進		
本社機能、研究拠点、情報通信業、海外事業者、多様な宿泊施設等の誘致の促進	企業ニーズや業界動向、地域特性を捉えた効果的な誘致活動の展開、優遇制度の活用促進		
企業立地促進補助金等優遇制度の充実	補助金制度等の活用・充実による企業誘致の強化		



(3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成

これまでは

これまで奈良県民1人当たりGDPは、全国・近畿の6割台の水準



- ・本県は、過去50年間大阪のベッドタウンとして発展 (県外就業率全国2位)
- ・男女とも就業率が低い (女性全国最下位、男性下から3位)

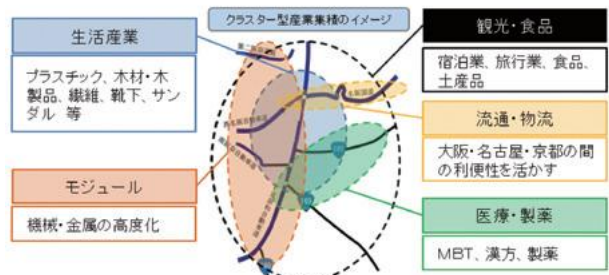
製造品出荷額等は平成24年に1兆7,576億円まで落ち込みましたが平成29年には、2兆917億円に回復(工場立地後3~5年後には生産開始で寄与)

1事業所当たり主要産業の製造品出荷額等 (単位:百万円)

	機械・金属	食品	プラスチック	製薬	繊維	木材・木製品
H18	1,720	851	449	709	205	168
H29	1,721	1,183	592	1,505	251	318
増減	+1(0.1%)	+332(39.0%)	+143(31.8%)	+796(+112.3%)	+46(22.4%)	+150(89.3%)

もっと良くするために

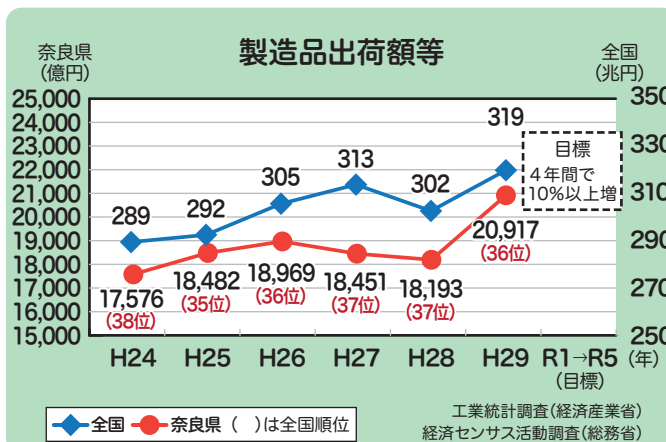
- ・独自技術を持ち技術力、競争力の高いニッチトップのモジュール製造企業や装置製造企業等の集積を図ります。
- ・県内産業のクラスター性を高めるとともに、新しい産業集積形成を目指します。(製造業と農業、観光産業が連携した新産業の育成)



目指す姿

主要産業の出荷額を大きく伸ばし、**製造品出荷額等を4年間で10%以上増**を目標にします。

製造品出荷額等は回復してきているけど、全国順位は伸び悩んでいるね。



そうですね。これからは産業を活性化するため、新しい産業も集積させて、企業同士のつながりを生むような工夫をします。



主な取組

取組

経済産業振興大綱の推進

令和2年度

令和3年度

令和4年度

経済産業振興大綱の策定・大綱に基づくクラスター型産業集積の推進



(4) 起業支援

これまでは

奈良県の開業率のランクは決して低くはありません。

全国と比べて起業割合が高い産業

医療・福祉、教育・学習支援業、生活関連サービス業、娯楽業

全国と比べて起業割合が低い産業

小売業、宿泊業、飲食サービス業

インバウンド訪問客の多い本県では、買い物、宿泊、飲食の観光消費を伸ばす必要があります。

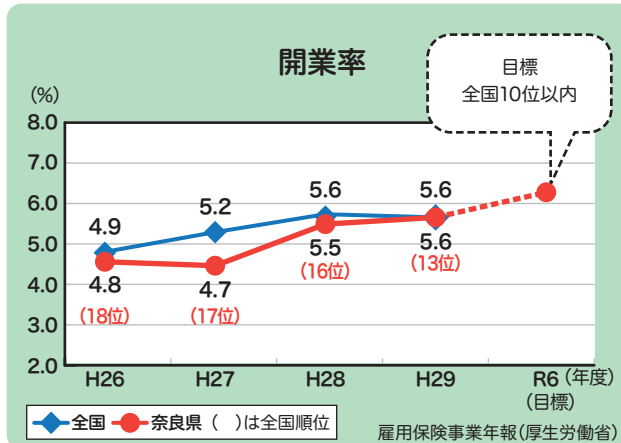
もっと良くするために

- ・「スタートアップ研究会」を立ち上げ、調査分析、施策提案をし、県内外関係者の起業につなげます。
- ・起業に要する費用の補助を行います。
- ・制度融資による支援、起業マインドの掘り起こしを行います。

目指す姿

「小売業」、「飲食業」、「宿泊業」の起業を増やし、令和6年度までに開業率を10位以内にします。

奈良県の開業率は、全国的に見て決して低くないんだね。



そうです！開業率をアップさせるため、県は、市町村、金融機関、経済団体等と連携をとって起業支援を続けていきます！



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新たな企業・事業所の創出	スタートアップ研究会の開催	研究会の成果を活かした起業支援の展開	
		インキュベータの運営	
起業支援金の補助	起業に要する費用の補助(東京都区部からの移住者については移住支援金を上乗せ)		
創業系融資	制度融資による金融支援の継続		



(5) 県産業振興総合センターによる県内産業への研究支援強化


これまでは

県産業振興総合センター第一期中期研究開発方針(H28-R3.3)による研究支援


- ・ 広い研究分野に対応するために、研究テーマが広範にわたったことから、研究テーマあたりの研究員数も少なくなり、比較的大きな研究成果が得られにくい環境での研究開発推進となりました。
- ・ 県内企業における研究者の育成も同時に進めていく必要があることがわかりました。

<研究成果事例>


県産業振興総合センター + 県内企業 → 共同研究



オルニチン(肝臓の働きを促進)含有量の高い清酒



病院・高齢者施設等で使用する健康維持トレーニング機器



靴下のみで屋外を走れる靴下

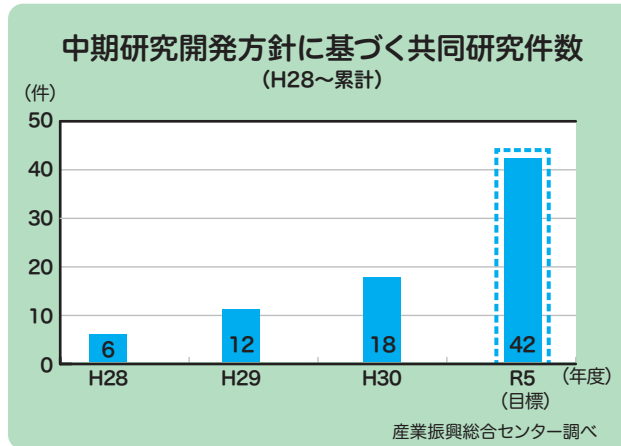
もっと良くするために

- ・ 研究開発補助による県内産業の基盤強化と新規産業を創出します。
- ・ 県産業振興総合センター「第二期中期研究開発方針」(R3.4-R6.3)では、研究テーマの選択と集中を図り、大学や県内企業との研究者と積極的に交流・連携するオープンイノベーション型研究開発を進めます。
- ・ 県立6研究センターの活用と研究分野統合本部による共同研究を実施していきます。

目指す姿

令和5年度までに中期研究開発方針に基づく企業との共同研究件数を42件にします。

県内企業のものづくりを支援していくためには、製品化につながる研究開発をどのように進めるかが重要だね。



県では、産業創出につながる研究開発を総合的にバックアップしていく取組を進めていきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研究開発への補助支援	補助制度立案・募集	補助金による研究開発支援	
第二期中期研究開発方針の策定	研究方針策定準備	策定	第二期中期研究開発方針に基づく研究開発の実施
企業との共同研究推進	共同研究の実施		
研究開発のための県制度融資による金融支援	制度融資による金融支援		



(6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大

これまでは

海外への販路拡大

- ・ ジェトロ奈良貿易情報センターと一層の連携を深め、海外展開支援体制を強化します。
- ・ 農林産物を含む県産品のヨーロッパ・アジア市場等への海外販路拡大を積極的に展開します。

首都圏等への販路拡大

- ・ 展示会出展、商業施設での販売支援、知事トップセールス等による首都圏等国内への販路拡大に取り組みます。

もっと良くするために

- ・ 展示会出展、商業施設での販売支援、知事トップセールス等による首都圏等国内への販路拡大に取り組みます。
- ・ 農林産物を含む県産品のヨーロッパ・アジア市場等への海外販路拡大を積極的に展開します。
- ・ ジェトロ奈良貿易情報センターと一層の連携を深め、海外展開支援体制を強化します。

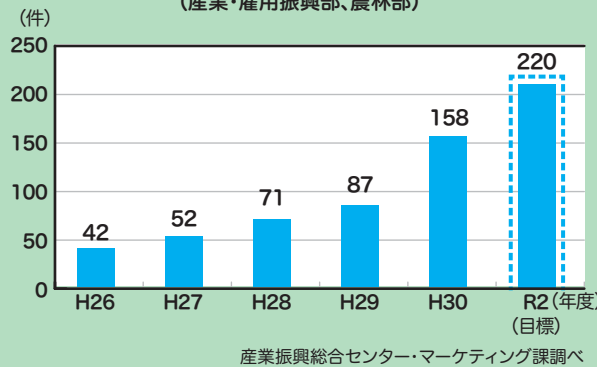
目指す姿

令和2年度までに企業等の販路拡大支援件数を年間220件にします。

販路拡大の支援件数は増えているね。



企業等の販路拡大支援件数 (産業・雇用振興部、農林部)



そのとおり!これからも国内や海外を問わず販路拡大の意欲が高い企業・事業者をどんどん応援していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ジェトロ奈良貿易情報センターとの一層の連携	海外展開支援体制の強化		
海外への販路拡大支援	農林産物を含む県産品のヨーロッパ・アジア市場等への海外販路拡大プロモーションの展開		
首都圏等への販路拡大支援	展示会出展、商業施設での販売支援、知事トップセールス等の実施		



(7) 商業振興・商店街活性化

これまでは

商業振興、商店街活性化の努力を重ねてきましたが、県内の商業の力はまだまだです。



「NARA TEIBAN」
(松屋銀座)の開設



御所市新地商店街「2日間のオープンシャッター」
官民協働の店設営



もっと良くするために

- ・ 製造業者等が顧客の視点での商品開発と売場づくりを行うための支援をします。
- ・ 店舗運営者に対する支援や店舗を展開する人材の創出を図ります。
- ・ 商店街の空き店舗を活用した商店街活性化の取組などを支援します。

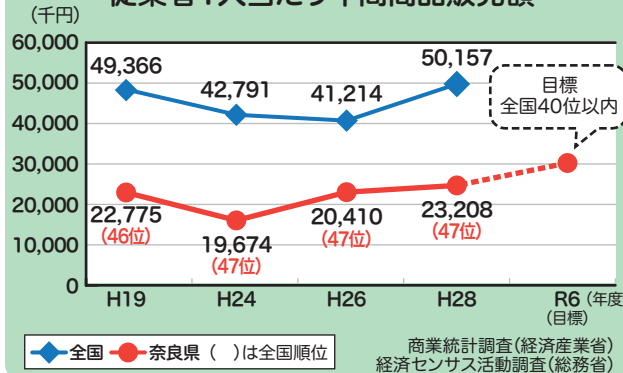
目指す姿

令和6年度までに従業員1人当たり年間商品販売額を全国40位以内にします。

商業の活性化が期待されるね。



従業員1人当たり年間商品販売額



県では空き店舗の活用や製造業の自社ブランド創出等の取組を支援していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
駅前商店街空き店舗活用	空き店舗を活用し、チャレンジショップやイベント等を実施		
「奈良ブランド」開発支援	自社ブランド化のための商品開発・販路開拓を支援		
SPA店舗運営支援	企画から製造・小売までを一貫して行うSPA店舗への転換を支援		
マーチャンダイジング勉強会等の開催	店舗運営者等向けの勉強会、個別面談		



(8) 奈良県経済産業振興大綱の策定

これまでは

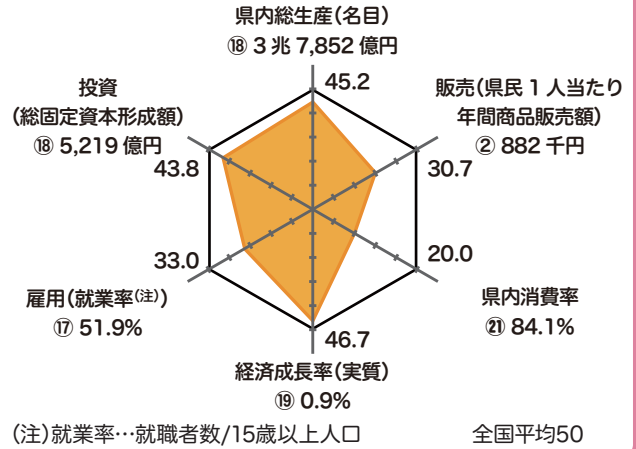
奈良県経済の活動水準は、決して高いものではありませんでした。

しかし、最近経済の先行指標の中で、投資(工場立地)、雇用(有効求人倍率)、生産(域内経済成長率)に高い動きが見られます。

H28年実質経済成長率は、全国平均を大きく上回るプラス成長となり、前年度全国40位が9位になりました。建設業(民間建築工事等)、製造業(食料品、化学等)などの伸びが成長に寄与しました。

	H27	H28
奈良県	-0.2	+2.8
全国平均	+1.4	+0.6
順位	40位	9位

奈良県経済の偏差値



もっと良くするために

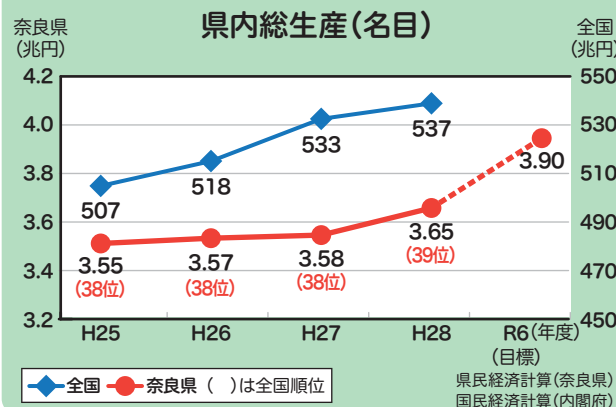
投資生産、販売消費、雇用が県内で好(高)循環することを目指し、奈良県経済産業振興大綱とその具体的施策をまとめたアクションプランを令和2年度に策定し、経済産業政策を体系的に推進します。

- ① 客観データにより、県内経済産業の動向と構造の把握に努め、見える化を行います。
- ② 有識者を中心とした勉強会を設け、域内経済状況の把握と具体的施策の抽出に努めます。
- ③ 経済産業政策の目標と施策内容を具体的に示します。

目指す姿

令和6年度までに県内総生産(名目)を3兆9,000億円にします。

どうやって奈良県の経済を良くしていくの?



奈良県経済が良くなるように、現在の奈良県産業の見える化を行って計画を立てていきます。



主な取組

取組

経済産業振興大綱の推進

令和2年度

令和3年度

令和4年度

経済産業振興大綱の策定・大綱に基づく施策の推進